

先週から新年度が始まりました。機構も人が入れ替わっています。
新しく来られた方の自己紹介は来週発刊の「はしわたし」で掲載する予定ですので楽しみに！

元号の変更により、平成31年度表記と令和元年度表記の取り扱いがどうなるのか？個人的に気になっています。調べてみると、国の予算では改元日以降は「令和元年度」と表記するようです。また、法律・法制は改元のみ理由で改正しない。と明記されています。

総務省のホームページにて公開されていますので、参考にしてみてください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第375号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・最新の情報はありません

■機構の動き

- ・第380回技術サロン

■Tea Break

- ・機構生活を振り返って（ときじさんからの投稿です）

■研究成果のおさらい

- ・下水浄化センターのエネルギー自立化システムに関する共同研究
- ・長野県流域下水道“ZERO”エネルギープランの策定に関する共同研究

■ピックアップ！機構情報

- ・エンジニアリングリポート
(分流式下水道污水管への浸入水に対する効果的な調査手法の検討)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・今週はお休みです

機構の動き (機構の行事予定です)

●第 380 回技術サロンを開催します！

日 時：平成 31 年 4 月 11 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：東京都下水道局 流域下水道本部 技術部 施設管理課長 竹俣 政則 氏

テーマ：東京都におけるエネルギー・温暖化対策の取組

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon380>

○平成 31 年度の審査証明受付期間について

下水道機構が行う建設技術審査証明事業（下水道事業）では、民間企業において研究開発された下水道に係わる技術を対象に審査を行い、その性能、特長等を客観的に証明しています。証明書が交付されたそれぞれの技術は、「報告書」や「技術概要書」等が作成され、全国の地方公共団体等に配布し、公共事業で技術導入の際の判断資料として広く活用されております。

審査証明事業の受付期間：2019 年 4 月 1 日（月）～4 月 26 日（金）

なお、審査証明を依頼するにあたって、必要書類ならびに使用実績や性能確認試験についての内容等については、当機構 Web をご覧いただくか、当機構の技術評価部までご相談ください。

◎ 問合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構 技術評価部

TEL:03-5228-6599 e-mail:shinsashoumei@jiwet.or.jp

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●機構生活を振り返って（ときじさんからの投稿です）

平成 29 年 5 月から 2 年間、下水道機構でお世話になっておりますが、今月末で出向期間が終わり、出向元に戻ることとなりました。

下水道機構では、研究員として活動してきました。下水道機構に異動になった当初は、右も左もわからずに日々迷走しておりました。そこから徐々に業務に慣れ、気付けばあっという間に 2 年が経過しておりました。2 年間の中で、民間会社との共同研究や国や自治体との業務を通して、出向元にいるだけではおそらく得られなかった経験や、人とのつながり等数多くの物を得ることができました。

この場をお借りしまして簡単ではありますが、出向中にお世話になった皆様にお礼と感謝を申し上げます。

また、ここで築くことができたつながりをこれからも大事にしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します)

・下水浄化センターのエネルギー自立化システムに関する共同研究(佐賀市)

佐賀市下水浄化センターでは、バイオマス産業都市構想の実現に向けて、地域バイオマスの活用等により電力自給率の向上を図る取組みを進めています。

本研究では、当該浄化センターにおいて電力自給率の向上の観点も踏まえた効率的かつ効果的なストックマネジメントを進めていくために、省エネに関する調査・検討を行い、将来的なエネルギー自立化に向けた事業化ビジョンを提示しました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-08-ab1>

・長野県流域下水道“ZERO”エネルギープランの策定に関する共同研究

長野県流域下水処理場4箇所を対象に、省エネ対策・創エネ対策及び周辺の汚水処理施設の統廃合、汚泥や生ごみの集約等を実施した場合のエネルギー的効果を試算して、中長期戦略における目標値（エネルギー自給率、省エネ率、GHG排出削減率）を検討しました。同結果を基に「長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン」としてとりまとめました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-08-ab2>

。○○。
ピックアップ！機構情報（下水道機構情報 No. 28 の中から記事をご紹介します）
。○○。

・エンジニアリングリポート

（分流式下水道汚水管への浸入水に対する効果的な調査手法の検討）

雨天時における分流式下水道汚水管への浸入水は、処理場への流入水量の増大のみならず、マンホールからの溢水、宅地内トイレへの逆流など重大な問題を引き起こします。そのため、浸入水に対し、早急な対策が望まれますが、従来の浸入水発生エリアの絞り込み調査では多大な時間と費用が必要となり、多くの自治体では課題になっています。そこで、全国の10都市と機構では、浸入水発生エリアを経済的かつ効果的に絞り込むための調査手法について検討を行い、本研究で整理した浸入水発生エリアの絞り込みに関する調査手法の有効性が示されました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-08-quarterly1>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

WEB版機関誌下水道機構情報 Plus+ 15号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter15>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。
はしわたし（みなさまの情報交流の場です）
。○○。

＼(^-^)/皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp
※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。 。 ○ 。

国からの情報

。 。 ○ 。

・ 今週はお休みです。

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町 3 番 1 号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511 (代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>